

海洋環境教育

× 観光

~Eco Marine Project~

藤稿ゼミ B班

和田敦美・渡部琴美・丹尾早希・岩崎有希
長美涼・塩沢美紗子・清水晶子・林強

本日の流れ

1.海離れの背景

4.波及効果

2.企画概要

3.企画の流れ

- STEP1:きっかけを作る
- STEP2:体験する
- STEP3:海について学ぶ

調査方法

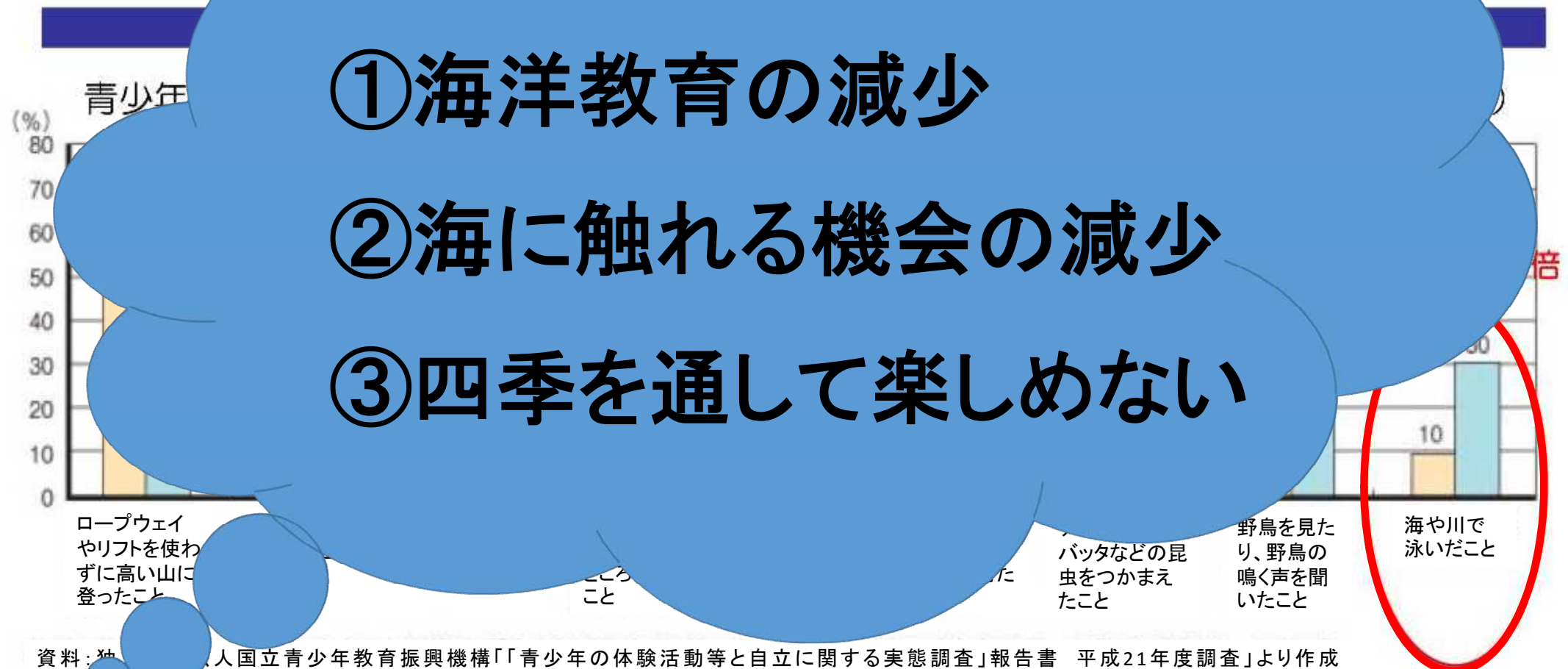
- ・グループディスカッション
- ・プラネタリウム企業へのヒアリング
- ・学校側へのヒアリング
- ・インターネットによる文献、データの調査

1.海離れの背景



2. 海離れ傾向への懸念 「実体験の減少」

- ① 海洋教育の減少
- ② 海に触れる機会の減少
- ③ 四季を通して楽しめない



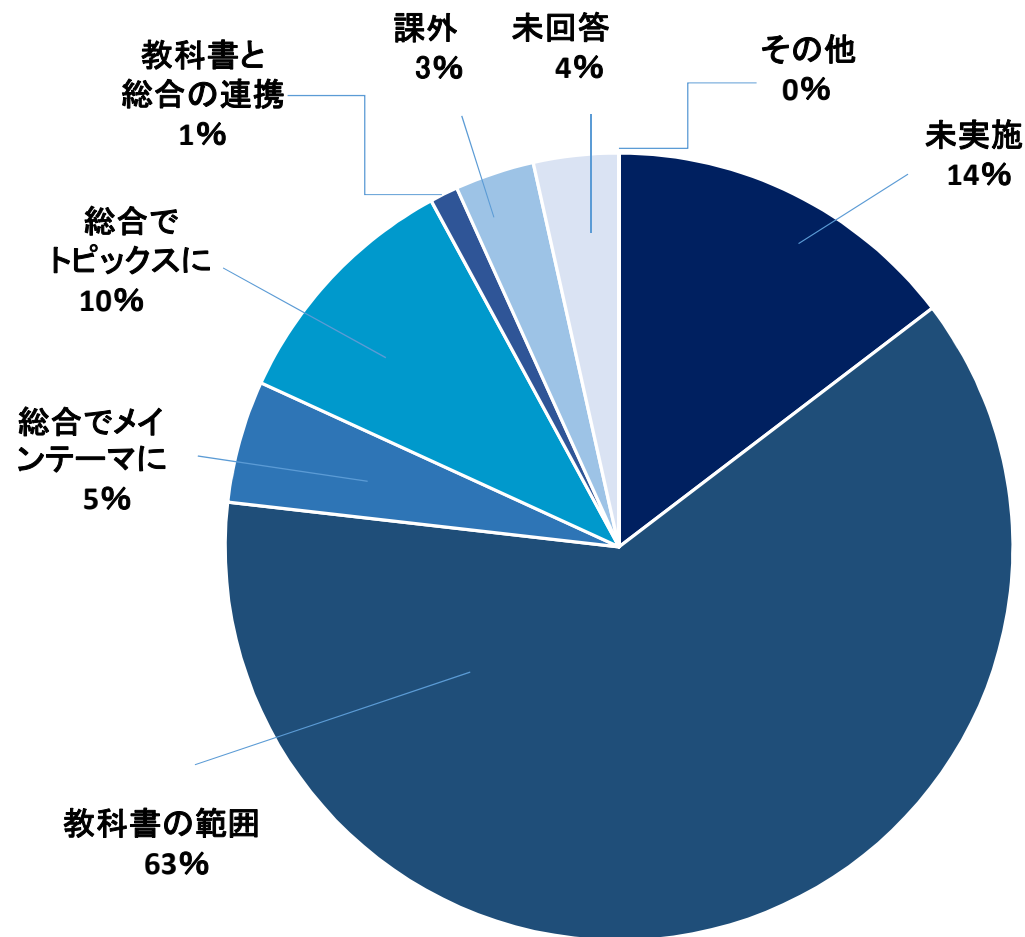
出典：国土交通省「海離れ傾向への懸念」実体験の減少

学校における海洋教育の実施状況

図表8: 海洋教育の実施状況

質問3: 海洋教育の実施状況	度数(校)	割合(%)
1 未実施	992	13.7
2 教科書の範囲	4,213	62.8
3 総合でメインテーマに	340	5.1
4 総合でトピックスに	695	10.4
5 教科書と総合の連携	78	1.2
6 課外	221	3.3
未実施	237	3.5
その他	0	0
計	6,706	100

質問3: 海洋教育の実施状況



2.企画の提案



<http://ord.yahoo.co.jp/o/image>



<http://xxhuyuzero.blog.jp/archives/35572502.html>

「Eco Marine Project」

現在日本が抱える海洋環境問題
＋
海について正しい知識を持つ子ども達の育成
＝
海洋環境教育プログラム

Eco Marine Project とは？



↳観光を通じて行う、海に特化した環境教育

- ・対象：小学4年生～6年生
- ・モデル対象地：神奈川県、埼玉県
- ・目的：海について正しい知識を情報発信できる子供を育成する事

●STEP1きっかけをつくる ●STEP2体験する ●STEP3海について学ぶ

3.企画の流れ



<http://ord.yahoo.co.jp/o/image>



<http://xxhuyuzero.blog.jp/archives/35572502.html>

STEP1 きっかけづくり



Purpose

STEP1

- ◆海に関する体験学習の場の創出をすること
- ◆今まで海に興味が無かった子供達に海について興味を持たせるきっかけを作ること
- ◆四季を問わず行えること
- ◆安全性が高く、気軽に体験できるものであること

海のプラネタリウム

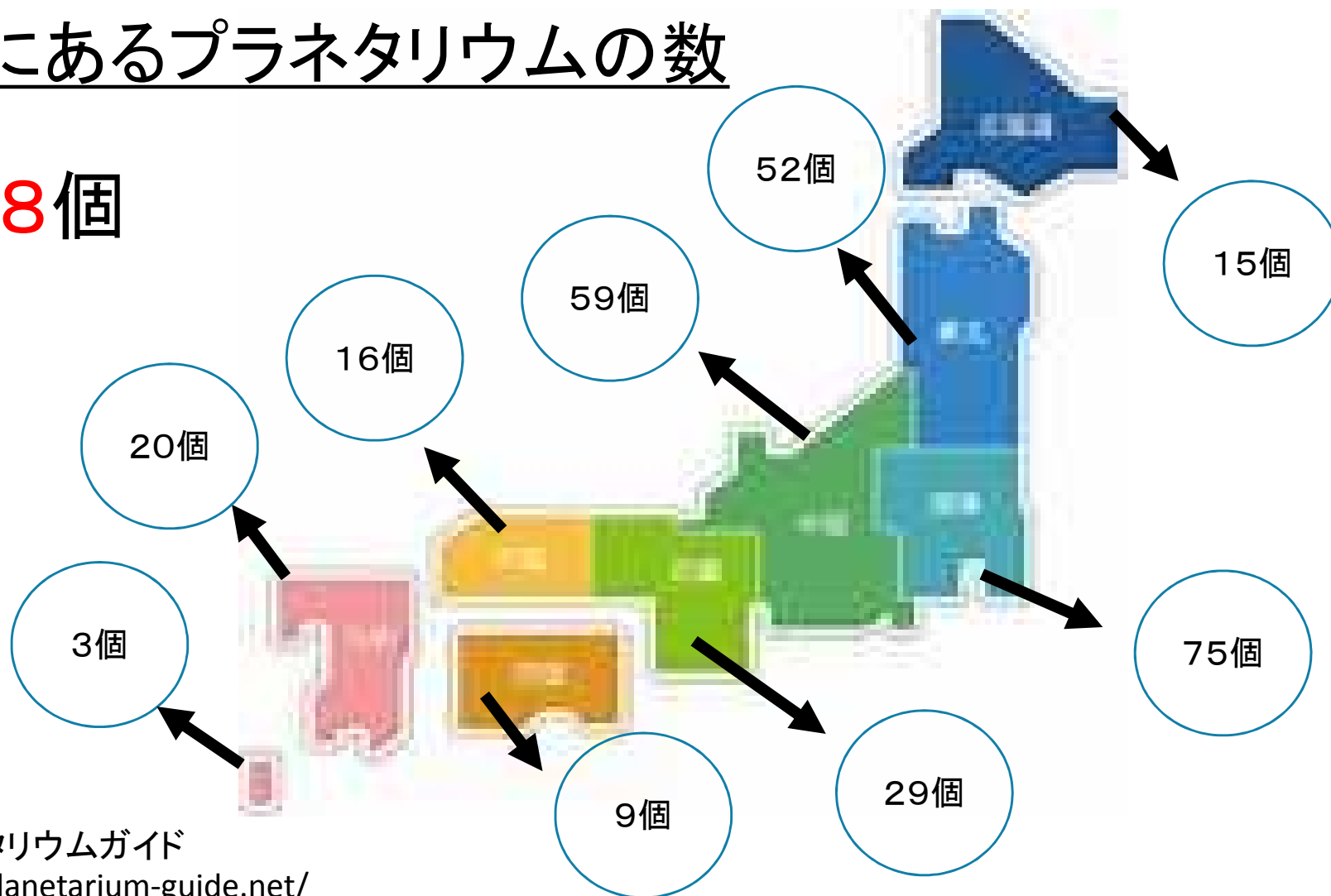


出典 : <http://www.planetarium.konicaminolta.jp/>

STEP1 きっかけづくり

全国にあるプラネタリウムの数

計**278**個



出典:プラネタリウムガイド
<http://www.planetarium-guide.net/>



連絡を取った企業

- ◆プラネタリウム運営企業
- ◆プラネタリウム映像作成会社
- ◆展示物作成会社

問題点と解決策



問題: 映像と現実のギャップ

解決策: プラネタリウムの会場の近くの空きブースで、汚れている現在の海の現状についての展示をする。e.g. 漂流物トランク



問題: STEP2へ続かない

解決策: 入場の際のチケットの半券に、次のSTEPで使えるクーポン券をつける。
学校でチラシを配布してもらう。

STEP2 体験する



Purpose

STEP2

- ◆海洋観光の魅力について情報発信すること
- ◆海について正しい知識を持つ子供を増やすこと
- ◆親子での参加を推進できるプログラムにすること

自由研究TOUR



開催地・・・神奈川県

集合場所・・・大学

- ・自由研究の一貫で、職業体験や生物観察を行う
- ・進行は海洋学生にお願いします



海洋学生を取り入れるメリット

1. 海洋学部の存在をアピールすることができる
2. アウトプット出来る場を提供することができる
3. 子供たちが親しみやすいと考えられる

TOUR



アオウミウシ・タカラガイ
アカヒトデ・フジツボ



10:00

職業見学・体験

13:00

生物観察

14:00

海のわくわく研究

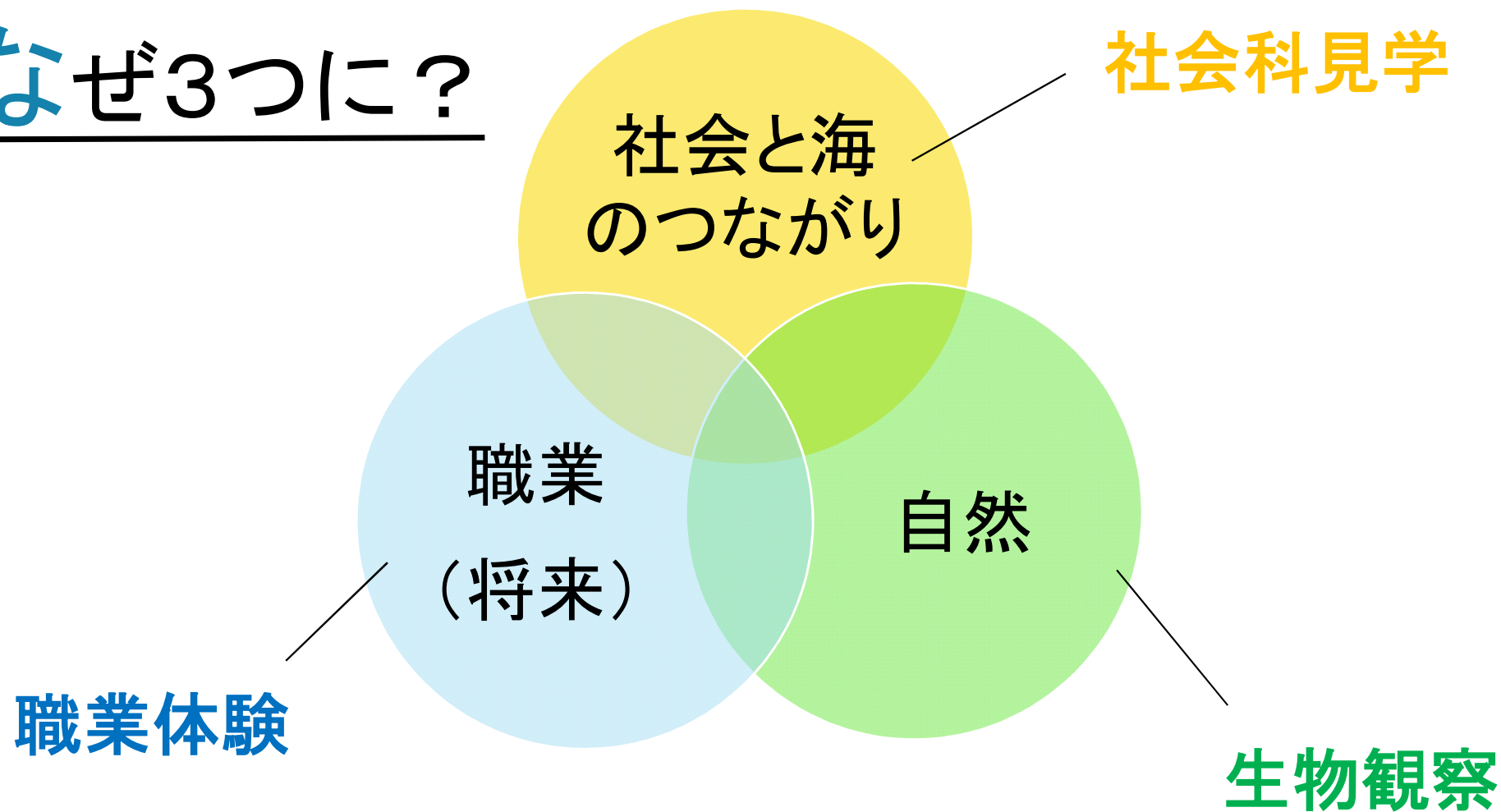
船長体験・釣り体験
日本丸の見学ツアー

塩作り・砂絵を描く
浄水器づくり
貝殻工作



<http://ord.yahoo.co.jp>

なぜ3つに？



STEP3 海について学ぶ



Purpose

STEP3

- ◆ 繰り返し海に行き、海について考える機会を与えること
- ◆ 海について正しい知識を持つ子供達を増やすこと
- ◆ 子供達に当事者意識を持たせること
- ◆ 海洋の周知啓発を行うこと

今までの失敗例



出典：<http://www.osaka-sports.com/course/marineschool/>

実施が一回
のみで終了

学ぶフィールド
がバラバラ

学ぶ事に
一貫性がない

マリン塾

- ・学校集合
- ・四季を通して行うプログラム
- ・海あり県と海なし県の二つのパターンのプログラム

学校主催にするメリット

- ・学校開催にすることで小学生が参加しやすい
- ・親子で参加しやすい
- ・継続的に行うことで、普段から海のことを考えられるようになる

～海あり県(神奈川県)～

	イベント	イベント内容	場所
秋	ビーチクリーン 魚釣り&BBQ大会 海の生き物写生大会	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県と埼玉県のマリン塾生が合同でレクチャーを受けながら魚を釣り、釣った魚をBBQで使用する。 ・海の生き物を観察し、自由に写生する。 	神奈川県内の海
冬	ビーチクリーン 貝殻やシーグラスでDIY	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の海を観察したり、夏とは違う生き物がある事をレクチャーして生物観察を行う。 ・海のゴミやシーグラスを使ってDIYをする。 	神奈川県内の海
春	ビーチクリーン 水族館探検	<ul style="list-style-type: none"> ・レクチャーを受けながら水族館を探検したり、生物観察を行ったりする。 	八景島水族館
夏	ビーチクリーン	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県と埼玉県のマリン塾生が合同でビーチクリーン活動を行う。 	神奈川県内の海

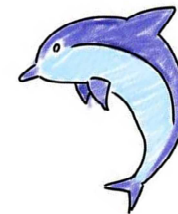
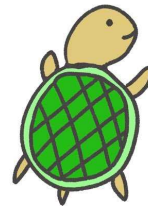
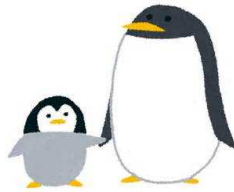
～海なし県(埼玉県)～

	イベント名	イベント内容	場所
秋	ビーチクリーン 魚釣り&BBQ大会 海の生き物写生大会	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県と埼玉県のマリン塾生が合同でレクチャーを受けながら魚を釣り、釣った魚をBBQで使用する。 ・海の生き物を観察し、自由に写生する。 	神奈川県のみ
冬	水族館探検	<ul style="list-style-type: none"> ・レクチャーを受けながら水族館を探検したり、生物観察を行ったりする。 	水族館・博物館
春	ビーチクリーン 下水道探検ツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO団体が開催するビーチクリーン活動に参加する。 ・下水道を見学し、自分達の生活と海との関わりについて理解してもらう。 	埼玉県内6か所の下水処理場の中から学校に近い施設
夏	ビーチクリーン	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県と埼玉県のマリン塾生が合同でビーチクリーン活動を行う。 	神奈川県のみ

称号制度

☆☆バッジを授与☆☆

STEP1ペンギン STEP2カメ STEP3イルカ



☆☆スタンプラリー☆☆

マリン塾を1回参加するごとに、1スタンプがたまる。
コンプリート出来た方には、賞状を授与する。

波及効果

STEP1

- 子供たちが海について興味を持つきっかけとなる

STEP2

- 親子で参加することで、家庭でも海について話し合うきっかけとなる

STEP3

- 一年間を通して海について学ぶことで海への知識を深め、自ら海について考えられるようになる

A wide-angle photograph of a beach at low tide. In the foreground, a large, rectangular footprint is clearly visible in the sand, showing a grid-like pattern. In the middle ground, a person is standing on the beach, holding a long pole or stick. The ocean is visible in the background with gentle waves. The sky is clear and bright. The overall scene is peaceful and serene.

ご清聴ありがとうございました